

【学校の重点目標】 「つながる・つなげる」

～ 自分の考えを他とつなぐ、自分の学びを他とつなぐ ～



	達成目標	達成状況	評価 (1～4)	改善策
学力向上	○基礎的・基本的な学力の向上と個性や創造性を伸ばし、主体的、対話的で深い学びを育成する。 ○時代の変化に対応するための諸課題に対応する力を育成する。	・弱点領域を中心に、基礎・基本の繰り返し学習に取り組んだが、県平均（全国学力調査／県学力調査）を上回ることができなかった。いずれも、「書く力」の向上に課題が見られる。家庭学習時間の増加が見られる。 【学力調査（標準化得点）】3年全国：国（98）数（94）理（96）、1年県：国（100）数（94）2年県：国（93）数（92） 【アンケート結果】学習のルールが身に付いている96% 家庭学習1時間未満25%（全国30%）	3	・ICT器機を活用した授業づくり ・階層別の課題領域に焦点化した繰り返し学習 ・家庭学習指導（自学ノートの取組の具体化） ・研推部を中心とした主題研究としての全教科共通の取組（振り返り活動）充実
道徳性育成	○道徳教育や人権教育を通して、人間としての基本的な倫理観や規範意識を育成する。 ○すべての人の人権が尊重される社会の実現を目指して、人権・同和教育の推進を図る。	・日常の活動や道徳の授業の充実などにより、福祉への関心や公共性の意識などに高まりがみえるようになった。また、いじめ事案への取組や不登校生徒への対応などに一定の成果が見られた。 【アンケート結果】「夢や目標をもつ」割合73%（全国67%）先生や友達に進んであいさつ94% 学校の規則を守り生活を送ることができている97% 「公共福祉や社会発展のために、進んで取り組む」68%←表現や行動に課題 ・道徳の時間に考えを広げ深めているが、実際の場面につながっていない？	3	・身の回りの出来事等を題材に、具体的な場面設定をとおして、自他との関係性を考える授業を実施する。 ・学級活動、朝・帰りの会の振り返りの場面を充実させる。 ・執行部を中心に生徒会活動の充実を図る。
体力向上	○健康の保持と体力向上を目指すし、進んで運動を楽しむことができる。 ○食事についての正しい知識と、望ましい食習慣を身につける。 ○感染症対策の取組を徹底する。	・コロナ禍の影響が徐々に少なくなり、体育の授業や行事、部活動などに積極的に取り組むことで、運動に慣れ親しめる状況・時間が増加した。 ・新体力テストの結果、男子42(+0.9) 女子48(+0.2)と男女ともに全国平均を上回った。体力アップシートは全学年活用できた。 ・検温、消毒、換気投の基本的な対策は確実にできた。 ・給食日より、保健便りを月1発行 ・朝食摂取率は91（－0.6）%であった。	3	・部活動において、活動内容を工夫しながら運動量の確保に努める（特に持久力）。 ・体育の授業において、握力強化の補強運動や個々の課題に応じた活動を仕組む。 ・PTAと連携した基本的な生活習慣確立のための活動（早寝早起き朝ご飯）を充実させる。
いじめ登校の減少	○いじめを正確に認知し、迅速かつ組織的に対応する。 ○不登校の解消と不登校傾向の生徒の減少に向けた組織的な取組	・いじめ問題への早期対応のため、月1回の生活アンケート、教育相談の実施、福岡アクション3の確実な実践、家庭との密な連携（電話連絡、家庭訪問、メール配信、通信等、SC・精神対話士）を行う。不登校→自主学習室の活用 【アンケート結果】友達の失敗を責めず、協力して活動できる93.0% ・R4年度いじめの発生件数2件 → 解決2件 ・週一の不登校対応部会でマンツーマン支援の記録を基に情報交換。関係機関との連携をとり、組織的に取り組むが不登校生徒の数が減らない。30人超 ・関係機関を交えたケース会議を行った。行事により登校できた生徒が多い。	3	・「マンツーマン」による支援体制の見直しと、改善を図る。 ・早期発見、早期対応に向けた職員体制の点検・見直しを行う。（報告・連絡・相談） ・自主学習室の運営の仕方について全職員の共通理解を図り、教室復帰に向けての機能の整備を図る。要配慮生徒の情報の共有
家庭地域との連携	○PTA活動の参加と委員会活動の活性化 ○家庭や地域との連携・協力の充実 ○開かれた学校づくりの推進	・朝の挨拶運動は、PTA役員さんたちから生活委員、そして学級毎の保護者（希望制）へと広がった。生徒会執行部を中心に挨拶運動が広がりを見せた。挨拶をする生徒（保護者への調査）は90.3%で、学年が上がるほど高い。 ・「学び道場」への参加をはじめ、「夢講演会」「職業交流会」など、地域人材等を活用した取り組みができた。 ・教育週間の学校公開期間に参観した保護者93名 ・HPは定期的に更新し、安心メールでの情報発信は随時行った。	3	・PTA活動は、コロナ禍以降に委員会の役員構成（地区委員の数）や活動内容の見直しを行う。 ・感染状況を踏まえて、学校開放の行事を見直しながら徐々に再開する。 ・家庭や地域の教育課題を踏まえて、教育講演会やPTA活動などを設定する。